

2008年度 第8回 理事会 議事要録

日時：2009年3月28日(土) 13:00～15:00

理事総数16名 出席者数理事10名及び監事

議事に先立ち、河合理事及び新藤理事を議事要録署名人として選任した。2008年度第7回理事会議事要録を一部字句修正の上確認した。

[審議事項]

- (1) 地域研究コンソーシアムへの加盟について
資料 08-8-1 に基づき審議し、同コンソーシアムへの加盟申請を承認した。
- (2) 第3回通常総会の準備について
資料 08-8-2 に基づき審議し、2009年度第1回理事会(4月25日(土)14:00～)および第2回理事会(5月23日(土)11:00～)で引き続き審議することとした。
- (3) 季刊誌第49巻第3号以降の編集について
資料 08 8 3「編集マニュアル」を確認し、資料 08-8-4「『アジア・アフリカ研究』第49巻第3号以降の編集について」の編集方針を基本的に承認した。
- (4) 研究会・シンポジウム等の開催計画と準備について
 - 1) アジア・アフリカ研究所シンポジウム「世界金融危機と途上国」(兼5月研究会)の開催について以下のように決めた。なお、500円(会員・非会員同額)の資料代を徴収する。

日時：2009年5月23日(土) 14:30～18:00
場所：明治大学(会場は4月初め予約)

第1部：
基調講演：吉川久治氏(千葉商科大学商経学部特任教授、会員)(30分)
「米国発世界金融危機と発展途上国へのそのインパクト」
金元重氏(千葉商科大学商経学部教授、会員)(30分)
「2008 09 世界金融危機と韓国 1997 98 経済危機との対比を中心に(仮)」

コメント：森元晶文氏(明治大学商学部兼任講師)(10分)
所 康弘氏(明治大学商学部兼任講師)(10分)

休憩 10分

第2部：ディスカッション
 - 2) 第3回アジア・アフリカ研究所 = 基礎経済科学研究所合同研究会「資源・食糧価格変動の影響を考える」(兼7月研究会)

日時：2009年7月18日（土）

場所：京都大学（予定）

報告者および報告題はさらに詰め、季刊誌第49巻第2号に掲載する。

(5) その他

- 1) 事務責任者を理事の内から選任し、第3回通常総会に提案することを承認した。提案内容は次回理事会で検討する。
- 2) 季刊誌掲載論文等の著作権はアジア・アフリカ研究所が有するものとして第3回通常総会に提案することを決定した。提案内容は次回理事会で検討する。

[報告事項]

- (1) 新規入会について：大学教授2名（国内1・国外1）、准教授1名
- (2) 新規入会の申し込み：2件
- (3) 新規購読について：国立国会図書館関西館(前回未報告分)、大学図書館、外国国会図書館各1件
- (4) バックナンバー購入と新規購読申し込み：大学図書館1件
- (5) 季刊誌第48巻第1号の発行および第49巻第2号の入稿について：正常発行にもどったことの報告があった。
- (6) 2009年3月研究会の開催について：前回理事会で代表理事に一任した研究会の開催について報告があった。
- (7) 国立情報学研究所のサーバ利用によるホームページの開設について：新しいホームページが完成、2月から公開したことの報告があった。
- (8) その他

次回理事会の開催予定

[2009年度第1回理事会]

日時：2009年4月25日（土）14:00～

2008年度 第7回 理事会 議事要録

日時：2008年12月20日（土）13:00～15:00

理事総数16名 出席者理事13名及び監事

議事に先立ち、平井理事及び堀中理事を議事要録署名人として選任した。2008年度第6回理事会議事要録を一部字句修正の上確認した。

[審議事項]

- (1) 2008年度4月以降の収支中間報告について
資料 8 7 1 に基づき審議し、今年度の会計は、昨年度分の執行残額を差し引くと単年度では黒字になることを確認した。
- (2) ホームページのリニューアルについて
英文アブストラクトについては著作権者の承諾が得られたものを掲載することを決定した。
- (3) 季刊誌第49巻の編集について
資料 8 7 2 に基づいて審議し、第49巻第2号以降の編集計画（各号特集を組む）を承認した。
- (4) 研究会・講演会・シンポジウム等の開催計画について
2月は入試業務等で繁忙のため研究会は開催しないこととし、3月もしくは4月の研究会開催について種々検討の上、代表理事に一任した。
- (5) その他
投稿論文について
投稿論文 1 本について査読者の審査報告に基づき審査の結果、採用に至らずとの結論に達した。また、学会報告のため学会ホームページに数ヶ月間掲載された論文の投稿に関し、著者からの問い合わせに投稿規程どおり投稿不可と回答することを再確認した。

[報告事項]

- (1) 新規入会の申し込みについて：大学教授 1 名
- (2) 季刊誌第48巻第4号の発行および第49巻第1号の入稿について：第5回理事会で確認した編集計画に基づき、第48巻第4号は発行の遅れを1ヶ月まで縮小、第49巻第1号以降正常発行にもどる予定であるとの報告があった。
- (3) 季刊誌購読者名簿の作成について（資料 8 7 3）
- (4) 国立情報学研究所ホームページ構築サービス利用と有限会社 Bit との契約について
- (5) 公開講座「環境と開発」兼11月研究会の実施について
- (6) その他

次回以降の理事会と研究会の開催について、季刊誌上およびホームページ上での発表を含めて代表理事に一任した。

2008年度 第6回 理事会 議事要録

日時：2008年10月25日(土) 13:00～15:00

理事総数16名 出席者数14名

議事に先立ち、河合理事及び寺本理事を議事要録署名人として選任した。2008年度第5回理事会議事要録を一部字句修正の上確認した。

議事

[審議事項]

- (1) 公開講座「環境と開発」兼11月研究会の実施について

日時：11月28日(金) 18:30～20:30

場所：専修大学神田キャンパス7号館6階761教室

講師(報告者)：阪本将英・専修大学商学部准教授(会員)

テーマ：「環境と開発」

第5回理事会の決定に基づき、河合理事(責任者)、炭谷理事及び平井理事を中心に事前の宣伝や当日の準備を行うことを確認し、事前の宣伝については、メディアへの広報、大学所属会員へのカラーポスター配布、自治体へのチラシ配布、諸学会への連絡など具体的方策を検討した。

- (2) 2009年2月以降の研究会・講演会・シンポジウム等の開催計画について

種々の案が出され、実施に向けて今後詰めることとした。

- (3) ホームページの改定について

担当の河合理事より3業者からの見積もりについて報告があり、最終的に藤田代表理事、河合理事及び炭谷理事が業者と面談して決定することにした。

- (4) その他

個人購読者については、会員への切り替えを要請する。なお、長期滞納者に対しては、季刊誌の送付を停止することを決めた。

[報告事項]

- (1) 新規入会の承認：大学研究員1名

- (2) 季刊誌の発行予定について：第5回理事会で確認した編集内容で、第48巻第4号は11月半ば発行、第49巻第1号は1月25日正常発行予定であることの報告があった。

- (3) 国立国会図書館代償納本への切り替えについて：藤田代表理事より、5割代償納本の手続きが10月22日に完了したことの報告があった。

第7回理事会および12月・1月研究会の開催を確認した。

2008年度 第5回 理事会 議事要録

日時：2008年9月27日(土) 13:00～15:00

理事総数16名 出席者数12名

議事に先立ち、平井理事及び堀中理事を議事録署名人として選任した。第4回理事会議事要録を一部字句修正の上確認した。

議事

[審議事項]

(1) 季刊誌の編集と投稿論文の審査について

第48巻第4号以降の編集

第4号(発行日2008年10月25日：9月末入稿、11月初め刊行予定)

論文

岡野内正「パレスチナ問題を解く鍵としてのホロコースト(シヨア)とナクバに関する正義回復(リドレス)(下)」

Andrew Arato, *Redeeming the Still Redeemable and Post Sovereign Constitution Making* (Professor, New School for Social Research, N.Y., U.S.A.)

時評論文

竹内幸雄「『自由主義帝国論』とレジーム・チェンジ：イラク戦争をめぐって」

紹介

吉川久治「グレッグ・グランディン著松下冽監訳『アメリカ帝国のワークショップ』」

第49巻第1号(発行日2009年1月25日：11月末入稿、正常発行予定)

論文

小林尚朗「グローバル資本主義の危機とその行方」

金光旭「韓米FTAと経済的的要因についての考察」

Johann Tempelhoff 「南アフリカの開発と水問題(仮・英文)」(Professor, North-West University, South Africa)

報告

小松みゆき「ハノイに暮らす(仮)」(旧事務局員)

第49巻第2号(発行日2009年4月25日 原稿締切2009年2月末)以降

論文

竹内幸雄「『自由主義帝国論』の歴史」

阪本将英「持続可能な発展と経済学」

Andrew Arato, *From Democratization to Crisis: 3 Phases of Constitution*

Making in Turkey 1982-2008

書評

太田和宏「松下冽『途上国の試練と挑戦』(ミネルヴァ書房)」

投稿論文の審査

阪本真由美・阪本将英・河田恵昭「インド洋津波災害における災害復興支援の有用性と課題～バンダ・アチェの事例より～」について審査の結果、季刊誌掲載を可とするとともに、査読者のコメントを受けて原稿の手直し等を指示することとした。

- (2) 公開講座(月例研究会を兼ねる)の実施について、河合理事(責任者)、炭谷理事及び平井理事を中心に事前の宣伝や当日の準備などを担当することにした。また、参加費(資料代)は500円(会員・非会員同額)とすることを承認した。

日時: 11月28日(金) 18:30~20:30

場所: 専修大学神田キャンパス7号館6階761教室

講師(報告者): 阪本将英(会員)

テーマ: 「環境と開発」

- (3) ホームページの改定について

国立情報学研究所のサーバへのホームページのつけかえを承認した。

ホームページの作成について各理事より種々意見が出され、大学院生のアルバイトではなく、専門の業者からも見積もりをとって、発注先を検討することとした。

[報告事項]

- (1) 新規入会の承認について: 大学准教授1名
- (2) 季刊誌第48巻第2号を8月12日、第3号を9月25日に発送したこと、また第3号より1ページの行数を35行とするなど誌面を刷新したことの報告があった。
- (3) 法務局の指摘による第2回通常総会議事録の修正について、必要書類を再提出し受理されたことの報告があった。

第6回・第7回理事会および10月・11月・12月研究会の開催を決定した。

2008年度 第4回 理事会 議事要録

日時: 2008年7月26日(土) 14:00~17:00

理事総数16名 出席者数9名

議事に先立ち、河合理事及び平井理事を議事録署名人として選任した。2008年度第3回理事会議事要録を一部字句修正の上確認した。

議事

[審議事項]

(1) 季刊誌の編集について

第 48 巻第 3 号 (発行日 2008 年 7 月 25 日 : 8 月初め入稿、9 月刊行予定)

論文

太田和宏 *Japan's ODA Strategy : From an Auxiliary State to a Leading State*

岡野内正「パレスチナ問題を解く鍵としてのホロコースト(シヨア)とナクバに関する正義回復(リドレス)」

時評論文

新藤通弘「端緒に着いたキューバの構造改革」

第 48 巻第 4 号 (発行日 2008 年 10 月 25 日 : 9 月末原稿締切予定)

論文

金光旭「韓米 FTA と経済外的要因」

紹介

吉川久治「松下洸共訳『アメリカ帝国のワークショップ』」

第 49 巻第 1 号 (発行日 2009 年 1 月 25 日 : 11 月末入稿予定)

論文

小林尚朗「グローバル資本主義の危機とその行方」

第 49 巻第 2 号 (発行日 2009 年 4 月 25 日 : 2 月末原稿締切予定)

書評

太田和宏「松下洸『途上国の試練と挑戦』」

なお、外国人研究者による英文論文の掲載もあわせて検討する。

(2) 出版企画について

45 周年記念出版とは別に、単発の企画も検討してみることにした。

(3) ホームページの改定について

河合理事より提案があり、種々審議した。

(4) その他の 2008 年度事業計画について

公開講座を 11 月に開催する。講師：阪本将英・専修大学准教授(環境経済学)。テーマ：環境と開発。阪本氏に日程を含めて藤田代表理事が依頼する。参加人数は 40 人を目標として取り組む。参加費を徴集する。講師には謝金を支払う。

[報告事項]

- (1) 新規入会の申し込みについて：大学研究員 1 名
- (2) 季刊誌第 48 巻第 1 号（発行日 2008 年 1 月 25 日） 7 月 16 日発送。
- (3) 季刊誌第 48 巻第 2 号（発行日 2008 年 4 月 25 日） 7 月 17 日入稿、8 月盆休み前に発送予定。
- (4) 基礎経済科学研究所との合同研究会の資料代は、参加人数に応じて配分した。
- (5) 新規購読について：大学 1 部
- (6) 投稿論文の取り扱いについて：学会のホームページに口頭発表のフルペーパーとして掲載されているものと同一論文であったため、藤田代表理事が投稿者と会い、同論文は取り下げることになったとの報告があった。藤田代表理事から投稿及び寄稿に関する規程案が出され、これを第 48 巻第 2 号から掲載することにした。
- (7) 抜刷希望者には、総会議決の通り実費で作成する。掲載誌については投稿者に 5 部、寄稿者に 2 部を無料で提供する。

第 5 回・第 6 回理事会及び 9 月・10 月研究会の開催を決定した。